

# 一ねんせいはいたいへんです

山<sup>やま</sup> 田<sup>だ</sup> 永<sup>え</sup> 菜<sup>な</sup>

しょうがいしゃのひとは、きつとふべんです。めがみえないひとがつえをついでいて、そこになにかものがあつたらとおれません。くるまいすのひとのおるみちに、くるまいすがとおれるひろさがなかつたらとおれません。だれかがきづいて、ものをよけてくれたりしてくれたりとおれます。

わたしは、みんなとふつうにおはなしができます。きょうかしよもよめます、プリントもかけます。かけつこともできます。わたしはみんなにはしょうがいしゃにはみえません。

わたしは、しょうがいがあります。はったつしょうがいです。みんなとおなじことをするのがむずかしいことがたくさんあります。

かんかくかびんがあります。おおきなおとがにがてです。はなびや、たいこのおとや、こうじげんばのおとは、しんぞうがドキドキするくらいこわいので、ヘッドホンをします。

においがにがてです。レストランのいいにおいはぜんぶまぎってしまつて、きもちわるくなつてしまつて、はいてしまいます。かぞくでがいしよくをしたことはほとんどありません。おねえちゃんたちや、おとうとに、ごめんねといつもおもいます。えんそくのときのおべんとうや、おねえちゃんたちのうんどうかいのおべんとうも、しらないところでたべるので、はいてしまいます。とつてもおなかがすいているのに、おかあさんがせっかくつくつてくれた、だいすきなたまごやきがはいつているおべんとうも、たべられません。

いっばいたべたいです。でもたべられません。イライラします。なみだがでて、とまりません。おかあさんに

「おはなししてごらん」

といわれても、いいたいことがあたまのなかをぐるぐるして、なにからはなしたらいいのかわかりません。じぶんのきもちがどこにあるのかわかりません。

がつこうのじゅぎょうのとき、みぎがわからほかのクラスのせんせいのかえがきこえます。ひだりがわから、わたしのせんせいのかえがきこえません。一ねん一くみで、どんなじゅぎょうをしていて、いま、なんのもんだいをやっていて、どういふふうにやるのか、せんせいのはなしがぜん

ぜんきこえません。ちょうかくかびんです。ざわざわのほうがおおききこえて、せんせいのがきこえません。おとはこわいのに、ひとのこえはきこえません。だからじゅぎょうがわからなくなりません。

みんなはきつと、へんだ、とおもっているとおもいます。ほけんしつでおやすみすることもたくさんあります。べんきょうでわからないことがあるときは、おねえちゃんや、がくどうのせんせいにおしえてもらいます。がくどうは、わたしみたいな、はったつしょうがいのがくる、がくどうです。

わたしのしょうがいはめにはみえません。だから、おかあさんとか、おばあちゃんとかおねえちゃんたちがたすけてくれます。がっこうのせんせいもたすけてくれます。

でも、おともだちとうまくできません。やすみじかに、みんなとこういであそぼうとおもったら

「えなちゃんとはあそばない」

といわれました。なきたいきもちになりました。でも、ないたらせんせいがしんぱいします。くつばこにもどつてくつをはきかえたらおかあさんが、がっこうにきていました。もつとなきたいきもちになりました。おかあさんにはなしをして、きょうしつでほんをよむとはなしました。でもおかあさんが

「いっしょにあそぼうっていつてごらん」

といいました。またいうのは、ゆうきがたくさんいります。なかよしのおともだちがふたりいたので、おもいきって

「いっしょにあそぼう」

といったら

「いいよ」

といつてくれました。うれしくておかあさんに

「あそんでくるね」

といいました。ゆうきをだしてはなしてみてもよかったですとおもいました。

わたしが、ないてなにもしゃべらなかったり、ほけんしつによくいたり、みんなとちよつとちがうから、みんなはわたしのことをへんだとおもっているかもしれない。

せんせいは、わたしのちよつかくかびんのこととかをクラスのみんなにせつめいしてくれました。なんでヘッドホンをするのかも、はなしてくれました。なかよしのおともだちは、なにもいいません。おともだちのおかあさんもわたしにとてもやさしいです。コロナで、さんかんびがいかいしかなかったからまだ、わたしのおかあさんも、だれがおともだちのおかあさんかわからないこともあります。

あるとき、クラスで

「そんなこともできないの」

といわれました。なきたくなりました。みんなには、かんたんにできることがわたしにはなかなかできません。なきたくなっただけ、

「わたしにはちよつとむずかしいの」

といったら、

「一ねんせいなのね」

といわれました。一ねんせいだけど、わたしはみんなよりできないことがたくさんあります。でも、みただけではわかりません。ランドセルにヘルプマークもつけているけど、ヘルプマークもいみをしらないひとがたくさんいるから、きづいてもらえません。

わたしは、がっこうにはいつてわすれものがおおくになりました。おかあさんがなんかいもとどけてくれました。ちよつとそこまでのスーパ―にでかけたとき、ヘッドホンをわすれて、バスがとまってブレイキのおとがしたり、こうじげんばのおとがするとき、おかあさんは、さつとわたしのみみをふさいでくれます。おかあさんに、ありがとうをいいます。おかあさんは

「ママは、えなのママだから、ありがとうをいわなくてもいいよ。だつてかぞくだから。でもがっこうのせんせいや、がくどうのせんせいとか、クラスのみんな、ほかのおかあさんにたすけてもらった

ときは、かならず、ありがとうをいってね」

といわれます。

おねえちゃんたちとは、いつもけんかをします。でも、わたしがじぶんのきもちをつたえるのがにがてだとわかって、ちゅうがくせいのおねえちゃんと、おかあさんが、きもちのカードをつくってくれました。おこつてるとか、かなしいとか、たくさんかおのえがあつて、ほけんしつでやすみたいです、とか、きょうしつにもどります、とかの、えもあります。おねえちゃんは、びじゅつがとくいです。ことばできもちをいえないときは、そのカードをつかつてゆびをさして、せんせいにきもちをつたえます。

ときどき、みんなどうしてわかつてくれないの、とおもつてイライラしてしまいます。でもおかあさんが

「えながつらいことは、みんなにみえないし、こっせつしたことがないひとは、こっせつのいたみもわからないから、なつたひとしかわからないの。でも、にがてなんだよってしてもらふことはできるとおもうよ」

とわたしにいいました。だから、なつやすみは、じゅうけんきゅうに

「わたしのせつめいしょ」

をつくることにしました。ことばでは、せつめいするのはにがてなので、もぞうしに、わたしのに

がてなことや、みんなよりとくいなことをかいた、せつめいしよをかくことにしました。

ちゅうがくせいのおねえちゃんも、わたしのしょうがつこのそつぎょうせいです。にばんめのおねえちゃんは、ごねんせいで、さくぶんがとくい、わたしにおしえてくれます。じどうかいのふくかいちょうで、とてもかっこいいです。わたしも、かっこいい一ねんせいになりたいです。いつもなっていたらせんせいも、おかあさんもこまります。

わたしに、ぶんしょうをかいてみたら？ といつてくれたのは、おかあさんです。ことばでつたえるのががてなら、もじで、つたえてみたらいいよ、といわれたので、じゅうちょうにおもっていることをたくさんかきました。かいたことをまとめました。

わたしのしょうがい、だれのめにもみえません。こわくても、きもちわるくてぐあいがわるくてもみえません。みんなよりできないことがあっても、それもみんなにはわかりません。わかってもらうのはたいへんです。だから、おかあさんが

「わかつてもらえなくても、しつててもらえてたら、それでいいんだよ」

といいました。にがてなことはたくさんあります。でも、みんなにしつてもらえるようにまずは、わたしが、がんばりたいです。